

## 令和元年度弁理士試験論文式筆記試験問題

[民法]

**A**は、**B**に対し、5500 万円を貸し付けた（以下、「**甲債権**」とする）。**甲債権**の利息及び遅延損害金の利率は、いずれも年 15%とされている。

**C**は、**B**から委託を受けて、**甲債権**を担保するため、自己が所有する**乙土地**（評価額 2000 万円）について抵当権を設定し、その旨の登記を備えた。**C**は、抵当権を設定したときに、**A**から、**乙土地**の上に建物を建築することについて、承認を得ていた。そこで、**C**は、**乙土地**の上に**丙**建物を建築し、所有権の保存の登記を備えた。その後、**C**は、**D**に対し、**丙**建物を売却した。**C**から**D**への所有権の移転の登記は、備えられていない。

**E**は、**B**から委託を受けて、**甲債権**を担保するため、**B**の保証人となるとともに、自己が所有する**丁土地**（評価額 3000 万円）について抵当権を設定し、その旨の登記を備えた。

**F**は、**B**から委託を受けて、**甲債権**を担保するため、**B**の保証人となった。

**B**は、**甲債権**について、履行遅滞に陥っている。

この事実を前提として、以下の(1)及び(2)の設問について答えなさい。なお、各設問は、それぞれ独立した問いである。

(1) **A**は、**乙土地**について、抵当権の実行として担保不動産競売を申し立てた。この競売により、**G**が**乙土地**を買い受け、その代金を納付した。**G**は、**C**に対し、**乙土地**の所有権に基づいて、**丙**建物を収去して**乙土地**を明け渡すよう求めることができるか。**C**からの有り得る反論を予想して論じなさい。

(2) **F**は、**A**に対し、保証債務の履行として、**甲債権**の元本 5500 万円並びにその利息及び遅延損害金 500 万円とを合計し、6000 万円を支払った。**F**は、この 6000 万円を回収するため、**B**及び**E**に対し、どのような権利を行使することができるか。**E**については、代位の割合に関する有り得る考え方を比較して論じなさい。

【100点】